

「業務改善運動報告書」

■提案者(改善者)名

作成日:2022/11/11

所属	所属名	こころの医療センター	グループ名	令和2、3年度 副看護師長会
	セクション名	副看護師長会	人数	13名

■提案(改善)内容

提案(改善)の件名	【タイトル:表題】 時間外における災害発生時の 初動行動構築に向けた取り組み	テーマ区分 1 医療の質の向上 2 患者サービスの向上 3 経営改善(業務の効率化) 4 職場環境の改善 5 その他 QC活動の取組 ○ あり × なし	
	【サブタイトル:副題】 副看護師長会の活動を通して		
概要	時間外に災害が発生した場合、管理当直として医師当直と共に仮設災害対策本部を立ち上げ、災害対策本部が立ち上がるまで対応する必要があるが対応に不安を抱えていた。そこで、副看護師長会内で災害時の初動対応についての学習や課題を抽出し、課題解決のために情報管理システムの整備(仮設災害対策本部の早期設置、病棟への指示命令システムの確立するシステム)、環境整備を行う対応を実施した。		
現状と課題 (改善前)	災害発生時、医師当直と共に看護管理当直(看護師長・副看護師長)が仮設災害対策本部を立ち上げることになっているが、災害発生時の経験や訓練経験がないことから不安を抱えていた。 副看護師長会で検討を行うと以下の課題が挙げられた。 課題1:仮設災害対策本部立ち上げの行動指針がなく初動対応が遅れる 課題2:各病棟の看護室内のパネルに災害発生時の対応は記載されているが更新されていないため統一した対応が取れず、仮設災害対策本部への報告が遅れ、病院全体の情報管理や対応が遅れる		
改善策(改善後)	令和2年度:改善策実施にあたり、副看護師長の防災知識が不足していたためDPAT隊員より副看護師長会議内で災害知識に関する講義、机上訓練を実施した。学習を通して災害発生時の情報管理と環境整備の必要があること、問題点を抽出すると上記2点が挙げられた。 令和3年度:課題1について、災害発生時、仮設災害対策本部立ち上げまでの行動をフローチャート化、仮設災害対策本部設置場所・情報管理方法(クロノロジー・コンタクトリスト)について記載した。また、必要物品を看護当直室へ設置した。課題2について情報管理が円滑に行くように病棟内の看護室のパネルの内容をCSCATTに沿って検討を行い統一した対応ができるように修正。スタッフへ教育を実施。今後、パネルを変更予定。		
改善の効果	上記内容の対策について、防災委員会、看護師長会に報告し承認をえた。また、副看護師長会で学んだ知識を元に部署内のスタッフへ学習会や机上訓練を通して教育を通してスタッフの災害発生時の対応について知識の底上げを行った。 【その他:以下の点について記載可能な場合は記載願います】 経費節減 : 時間節約 : 仮設災害対策本部の設置は5分で設置可能。 経済効果 : 質の向上 : A 患者や家族から大きな反響があった B 患者や家族の満足度がかなり向上した C 患者や家族の満足度が向上した		
院外への発表等 ○院外へ発表等をした場合は記載してください ○予定を含む	発表先 : 全国自治体病院協議会 精神科部会 第59回総会・研修会		
	評価実績:		
該当項目	テーマ区分	QC活動の取組	改善の効果:質の向上
	1	×	○